

発 行 日 野 市 議 会
住 所 〒191-8686 日野市神明 1-12-1
電 話 (042) 5 8 5 - 1 1 1 1
内 線 6 0 1 ~ 6 0 5

7月31日に開催された平成10年第1回臨時会において、次の方が教育委員会委員の任命に同意がされました。

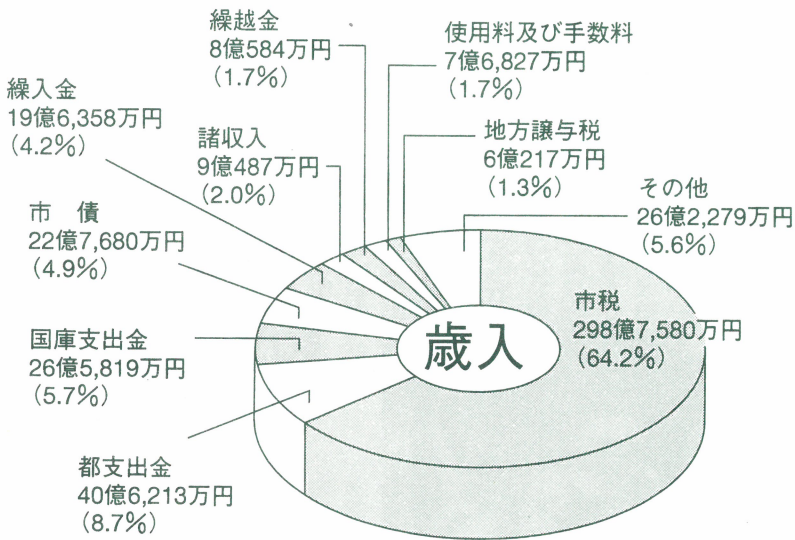
有元 佐興（61歳）
（住所）東久留米市滝山
2-15-9-201

本宣言は、男女があらゆる分野で、共に対等な立場で参画し、共に責任を分かち、自立した個人として多

同参画社会の実現を願う日野市が男女共同参画都市であることを宣言するものです。(宣言文は左記に掲載)

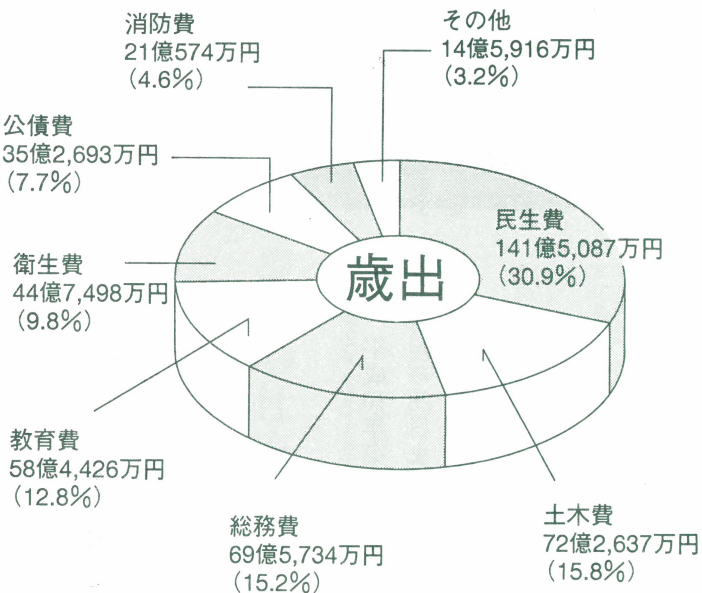
載

平成 9 年度一般会計決算構成図



歳入決算額	
465億4,044万円	
市民1人当たり	28万5,485円

歳出決算額	
457億4,565万円	
市民1人当たり	28万610円



歳入総額から歳出総額を差し引いた7億9,479万円は翌年度への繰越額となります。

平成 9 年度 会 計 別 決 算 額

区 分		歳 入		歳 出	
		決 算 額	前年度比	決 算 額	前年度比
一 般 会 計		46,540,442	0.7	45,745,651	0.7
特 別 会 計		34,670,722	2.5	33,308,191	1.2
内 訳	国民健康保険	7,110,419	1.9	6,954,969	2.4
	土地区画整理事業	4,432,859	8.5	3,585,489	4.5
	下 水 道 事 業	7,688,132	△6.8	7,448,136	△6.6
	受託水道事業	2,455,714	4.9	2,455,714	4.9
	老 人 保 健	8,693,736	10.2	8,500,232	6.4
	老人入院共済事業	43,536	△4.0	43,110	△4.9
	市立総合病院事業	4,246,326	0.5	4,320,541	△0.7
総 合 計		81,211,164	1.5	79,053,842	0.9

平成 9 年度決算の審査から

今定例会では、一般会計決算及び特別会計決算の2つの特別委員会が設置され、平成9年度予算が適正に執行されたか、また、財政運営は妥当であったかなどについて審査が行われました。

平成9年度一般会計の歳入決算額は、465億4千44万2千円で、前年度と比較すると3億1千82万6千円（0・7％）の増となりました。対する歳出決算額は、457億4千565万1千円で、前年度と比較すると3億2千187万7千円（0・7％）の増となりました。しかし、これは平成9年度は特別減税による影響がなかったことに起因するものであり、市の財政状況が依然厳しいことに変わりはありません。

また、平成9年度の7つの特別会計における歳入・歳出の決算額は、別表のとおりです。

一般会計決算

平成9年度一般会計決算特別委員会（委員長・内田勲委員、副委員長・一ノ瀬隆委員）は、9月17日、18日、21日の3日間にわたり開催され、正副委員長のもと、平成9年度一般会計決算について審査が行われました。

委員会では、計上予算に見合うだけの行政効果があつたか、会計経理上の過誤や違法的な支出がなかったか、財産の管理は適正に行われたかなどについて、延べ40人の委員から93件の質疑や行政への意見・提言・指摘が行われました。

主な質疑は、次のとおりです。

- 不況下の市内中小企業者への対応について
- 高速道路課税の予算に対する決算内容について
- ひとり暮らし老人の緊急通報システム設置費用について
- ごみ処理施設のオーバーホール経費の算出根拠について
- 教育用パソコンの借上料について
- 庁舎内の温度管理とそれにかかる燃料費について
- 当初予算と決算額の差額内容について
- 市債の借り入れ状況について

委員会最終日の21日、総括質疑ののち採決を行った結果、平成9年度一般会計決算は、「認定すべきもの」と決しました。

定例会最終日の28日、本

特別会計決算

平成9年度特別会計決算特別委員会（委員長・菅原直志委員、副委員長・奥野倫子委員）は、9月22日に開催され、正副委員長のもと、平成9年度特別会計決算について審査が行われました。

審査は、国民健康保険、土地区画整理事業、下水道事業、受託水道事業、老人保健、老人入院共済事業、老人

市立総合病院事業の7つの会計ごとに順次行われ、各委員から様々な質疑や行政への意見・提言・指摘が行われました。

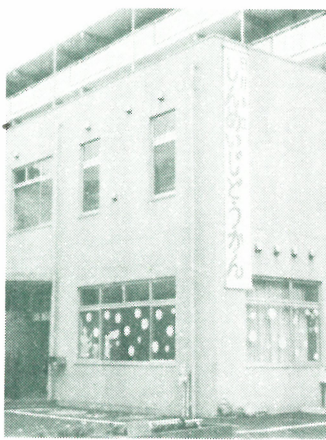
主な質疑は、次のとおりです。

- 保険税の収納率低下の原因について（国民健康保険）
- 総合的福祉制度見直しの検討について（老人入院共済事業）

平成9年9月の医療制度改正に伴う影響について（市立総合病院事業）

委員会では、慎重審査の結果、平成9年度特別会計決算については、7会計とも、全会一致で「認定すべきもの」と決しました。

定例会最終日の28日、本会議において菅原委員長より審査報告が行われたのち採決が行われ、平成9年度特別会計決算は、7会計とも全会一致で認定されました。



▲平成9年度開館した「しんめい児童館」

意見書

今定例会では、議員提出議案として提案された意見書・決議11件のうち7件が原案どおり可決され、意見書については、後日関係機関に送付されました。

可決された意見書・決議の要旨は次のとおりです。

■北朝鮮のミサイル発射に対する抗議決議

8月31日に北朝鮮から発射され、日本列島を横断し三陸沖に着弾した弾道ミサイルは、わが国の主権と安全を脅かすものであり、東アジア全体の平和と安定に脅威を与えた。北朝鮮の自制を強く求め厳重に抗議するとともに、政府に対し次の措置を取ることを求める。

- 1、北朝鮮に対し、ミサイル発射についての詳細な説明と謝罪を求める。
- 2、当面、KEDOの資金提供の交渉は、米韓と連携し、慎重に対応する。
- 3、今後、BMD（弾道ミサイル防衛）、情報収集衛星を初めとするわが国防空体制を強化すべきである。
- 4、北朝鮮の誠意ある対応がない場合は、食糧支援の凍結など断固たる処置をすべきである。

以上、決議する。

■犯罪捜査のための電気通信傍受に関する法案に反対する意見書

政府が今国会に提出している「犯罪捜査のための電気通信傍受に関する法律案（盗聴法）」は、警察に合法的に盗聴して捜査する自由を与えるものである。政府は暴力団関係の犯罪の取り締まりを口実としているが、二人以上の共謀が存在するとの疑いがもたれれば、「組織犯罪」とみなされ盗聴の対象となり、一般の電話だけでなく、公衆電話や携帯電話、ファックスやパソコン通信等が盗聴の対象になる。この法律が制定されると、「通信の秘密は、これを犯してはならない」という憲法第21条が空洞化されることになる。

よって、日野市議会は盗聴法に反対するものであり、すみやかに法案を取り下げるよう強く求めるものである。

【意見書提出先】内閣総理大臣、法務大臣、郵政大臣

■一般国道20号のバイパス整備の促進に関する意見書

一般国道20号日野バイパス及びそれから分岐

・・・（次頁下段に続く）

平成9年度
一般会計決算

各会派の
総括意見

総括意見

平成9年度一般会計決算に対する各会派の意見表明は、9月28日に本会議場で行われました。

各会派からは、決算の認定に対し賛成・反対それぞれの意見表明がありましたが、挙手多数で平成9年度一般会計決算は認定するものと決しました。

各会派の意見(要旨)は次のとおりです。

危機的財政状況の中、将来を見据えた
懸命の努力と適正・誠実な決算を評価

平成9年度当初予算では、高速道路用地の固定資産税課税額が不明なままに予算が成立しました。収入見込みが全く無いまま予算計上したこと自体が暴挙であり、今決算では、この件は論外として扱いました。

日野市の財政は危機的状況にあります。しかし、将来を冷静に見据え、基金の増額、公債費の繰り上げ償還、低金利への借り換え等、目立たないところでの懸命な努力がうかがえました。

福祉保健活動の拠点となる市立福祉支援センターの設立、たんぼの家建設補助、第三こばと寮開設事業の補助等、弱い立場の人たちへの配慮に努力がみられます。市立病院についても、建て替えに向けて軌道に乗ったと判断されます。

環境や緑の分野では、環境基本計画や緑の基本計画が市民参画の形で進みました。まちづくりに関する決算では、豊田南区画整理事業に大きな前進が見られ、下水道事業も大幅な補正で決算されました。密集住宅市街地整備促進事業の調査委託も決算され、今後の整備が期待されます。ごみ問題については、分別収集と

高速道の課税取り止めは議決権の軽視
市長の政治手法が市政運営の弊害に

1997年度予算で全会一致可決された高速道路の固定資産税課税は、地方税法の原則に基づき課税自主権を行使するものでした。

議決権に相対する課税を取り止めたことは、議決権の軽視、侵害として容認できません。よって、97年度決算の認定に反対します。

次に、市長の政治手法について言及します。

昨年10月の予算編成方針で公共料金への消費税転嫁を示しながら、市議選を避けて6月議会に提案してきたことは、地方自治の精神に反します。また、高齢者実態調査の中で公にした金銭的給付事業の見直しは、福祉政策を本格的に転換する問題であり、議会に報告し堂々と議論すべきです。社教センターの移転問題に絡み、市民が働き暮らしを立て地域の経済に貢献できるの

他に無会派の議員から認定に賛成する意見表明がありました。

公明
賛成

ソフト事業の確立と市民英知の結集で
21世紀に責任ある行政執行を要望する

認定の立場から意見を申し上げます。

ここ数年、行政水準を維持するために財政調整基金や公共施設建設基金等を取り崩し財源の確保を図ってきた手法は、余りにも安易な予算編成を行ってきたと指摘せざるをえません。

94・95となった経常収支比率は、適正とされる75%程度に収まるよう、行財政改革推進計画を強力に推進することを切望します。

また、週刊ダイヤモンドの財政破綻度ランキングに掲載され、更には、交付団体への転落も目前に迫っているなど悲観的な見通しに振り回されることなく、今こそ市職員、議会、市民が三位一体となった改革が重要と考えます。そして、これからはソフト事業を確立し、優先順位を見極めつつ市民の英知を集結した事業執行を要望します。

高速道路への固定資産税課税については、収入に上れない状況にもかかわらず、21世紀への確かな指標を日野市民に示し、市長の英断とリーダーシップのもと、21世紀に責任が持てる行政に変貌することをお願いいたします。

ほかにも多くの行政課題が山積しています。見本を見失った時代といわれる現代、21世紀への確かな指標を日野市民に示し、市長の英断とリーダーシップのもと、21世紀に責任が持てる行政に変貌することをお願いいたします。

民
市
クラブ
賛成

厳しい財政状況のなか、市民と同じ
視線で考えるまちづくりを高く評価

昨年9月1日号広報で公表された市の財政状況は、多くの市民にショックを与えました。多大な借入金、23億円しかない基金、98%の経常収支比率、市税収入の足踏み状態、増え続ける福祉関係経費、なかなか進まないまちづくり事業などが具体的な形で市民に公表されました。また、本年2月1日号広報では、今後5年間の主要事業として、市立病院の建て替え、ごみ処理施設改修、小中学校大規模改修、一番橋架け替えと関連都市計画道路築造、介護保険関連事業等をあげ、今後の財政事情と合わせ市民に理解を求めました。これは、市民と同じ視線で考えた、大きく評価します。

高速道路への課税に関しては、現時点では実施できないという判断を支持しますが、財源を求めるための工夫と努力は決して怠ってはならないと考えます。

歳出の面では、組織の垣根を越えた予算組みが必要と考えます。特に、ごみ関連事業、自主防災事業などは、地域市民の協力なくして成り立ちません。画一的な対応ではなく、個々の事業を十分に把握し、重点配分等の考え方も積極的に取り入れることを要望します。

また、介護保険制度の開始により、市民には新たな負担増となります。現在の福祉事業の全般を見直し、新たな視点での方向性を見出すことを要望します。

平成11年の予算編成に当たっては、30歳若返った市長として、市政にその若さを引き込むことを要望し、決算認定の意見とします。

清
流
ネ
ット
賛成

男女共生施策の更なる展開など、来年
度予算の編成と行政運営に6点を要望

認定の立場で6点意見を申し上げます。

1点目、高速道路への課税には賛成します。ぜひ実行することを要望します。

2点目、1997年度予算は前市長が編成したものと、責任の感じ方の薄さがみられたことを指摘しておきます。

3点目、本場に必要などころに予算が回るよう、これまでの常識にとらわれない予算編成を要望します。

例えは庁舎の温度管理についても可能な限り節約し、節約分を教育現場に回すことを要望します。

4点目は統合教育についてです。就学児童健康診断での子どもの手伝いを止めさせること、就学児童健診を強

5点目、育成会の予算について見直すとともに、組織や約束事の整理を要望します。会議費や補助金の出し方、総会の成立や役員任期、予算・決算の透明性の確保など、不公平のない方法話し合いの中から作っていただきたいと思います。

6点目は男女共生の施策についてです。私たちが求めているものと市の施策には開きがあります。それは職員の意識によるものであり、まずは職員の研修をしっかり位置づけ、予算にも反映させていたいただきたいと思ひます。可決された男女共同参画都市宣言の意義は大変大きなものがあり、来年度の施策への反映をお願いいたします。

書

する八王子南バイパス計画の整備については、一般国道20号の交通混雑緩和と沿道環境の悪化に対処することはもとより、災害時における緊急車両等の通路として、また、都市づくりを進める上からも大きな期待が持たれている。日野市では、南バイパスを都市計画上の骨格的な路線として位置づけ、早期開通を図るために道路用地の確保に努めている。日野市議会は、安全・快適なまちづくりを推進するために次の事項を要望するものである。

1、日野バイパスについては、用地取得、道路整備等のより一層の事業推進を図ること。

2、八王子南バイパス計画の早期実現に向けての手続きを行うべく調査の進捗を図ること。

3、道路特定財源の堅持と一般財源の大幅投入で事業費の拡大確保を図ること。

【意見書提出先】内閣総理大臣、建設大臣

見

■更なる医療制度改革に反対する意見書

昨年8月に医療改革協議会が発表した「21世紀の国民医療(指針)」では、医療保障制度全体の解体を明確にした。昨今の政府の医療改革の政策は、憲法に違反していることは明白であり、日野市議会は、次の項目の実施を求めるものである。

1、政府・与党医療改革協議会が発表した「21世紀の国民医療(指針)」で「財政構造改革法」が示した医療費抑制等を撤回し、安心して医療が受けられる環境整備を図ること。

2、難病医療費等医療費国庫負担制度を継続充実させること。

3、国民健康保険の国庫負担増額等の措置を講ずること。

4、医療従事者の労働条件を改善し、インフォームドコンセントの実施体制を確立すること。

5、市町村単位で「医療オンブズマン」制度を確立し、医療に対する苦情に敏感・適切に対応すること。

【意見書提出先】内閣総理大臣、厚生大臣

意

■介護保険制度の準備・施行に関する意見書

介護保険制度の実施までに、次のとおり必要な体制の整備に努めるよう要望する。

○社会保障に対する国・企業の責任を明確にすること

○家族介護に頼らない公的介護保障制度を確立すること

○要介護状態となった原因を加齢に伴う疾病等に限定しないこと

○全自治体で統一したサービス提供を保障すること

○サービス受給者には保険料以外の負担を掛け

・・・・(次頁下段に続く)

問 質 一 般



いも掘りを楽しむ高幡保育園児

夏井 明男

(公 明)

生涯学習

問1 生涯学習とは、個人の生き方から出発し展開される文化活動の一端であり、自主性が重んじられなければならないが、行政の役割と現状をどう認識しているか。

問2 生涯学習とは到達点がない行政の運動であり、その過程を大事にすることが重要である。生涯学習の今後のあり方、展望についての考えは。

答1 (生涯学習部長) 生涯学習

奥野 倫子

(日本共産党市議会)

図書館のさらなる発展のため

各定例会では、市政全般について一般質問が行われます。今定例会では、9月7日から11日までの5日間にわたり行われ、19名の議員から40件の質問があり、行政側の対応をいただきました。

出沼 恵美子

(清流・ネット)

子どもたちに居場所を返すために

問 不登校児童の行き場所の確保に早急に対応せよ。

答 (学校教育部長) 必要性は認識しており検討していきます。

安全確保を最優先した学童クラブづくりをすすめよ

問 市独自の安全基準の設定を。答 (福祉保健部長) 現状の施設をひとつの基準に当てはめること

は難しいと考えます。安全面の確保には十分注意していきます。

子どもの人権基本条例の制定を

答 (福祉保健部長) 東京都の取り組みなどを参考しながら、検討していきたいと考えます。

「せつけんの使用をすすめるまち」宣言を早急に

答 (市長) 宣言という形のものになるか現段階では明言できません。環境問題全体の中で趣旨が生まれるよう考えていきたいと思っています。

夏井 明男

(公 明)

生涯学習

問1 生涯学習とは、個人の生き方から出発し展開される文化活動の一端であり、自主性が重んじられなければならないが、行政の役割と現状をどう認識しているか。

問2 生涯学習とは到達点がない行政の運動であり、その過程を大事にすることが重要である。生涯学習の今後のあり方、展望についての考えは。

答1 (生涯学習部長) 生涯学習

奥野 倫子

(日本共産党市議会)

図書館のさらなる発展のため

各定例会では、市政全般について一般質問が行われます。今定例会では、9月7日から11日までの5日間にわたり行われ、19名の議員から40件の質問があり、行政側の対応をいただきました。

竹ノ上 武俊

(日本共産党市議会)

99年度に向けては市民の痛みがわかる予算編成を

問1 下水道料金及び市立病院使用料等への消費税転嫁について再考の意思はないか。

問2 この不況下における財源確保の対策について問う。

問3 学校図書嘱託員に対する公的研修制度の整備と交通費の予算化の可否を問う。

問4 公式野球場の建設計画について問う。

中谷 好幸

(日本共産党市議会)

介護保険

問 介護保険策定委員会に直接介護に携わる方を加えることを検討するとともに、現在の健康管理手当等の金銭給付の事業の見直しや保険料と利用料の問題など、財政難を理由として福祉の後退がないよう要望する。

答 (市長、福祉保健部長) 高

江口 和雄

(市民クラブ)

環境基本条例・農業基本条例などは日野市民の身近なものになっているか

問1 環境基本条例の取り組みと市民へのPRの方法と環境審議会について問う。

問2 農業基本条例の市民へのアピールと今後の農業の維持について、市の考え方を問う。

答1 (市長、環境共生部長) 環境基本計画の素案を策定し検討委員会を経て3月の議会に上程する

秋山 薫

(市民クラブ)

防災体制の充実について

問1 市民向けに地域の危険箇所を示した災害予測マップを作成できないか。

問2 避難場所ではどのようなサービスが受けられるのか。また、備蓄倉庫等の準備状況はどうか。

問3 住宅密集地等での消火栓の設置状況はどうか。

答1 (総務部長) 市民に役立つので慎重に検討します。

年齢福祉サービスを下させない方向を探りつつ、住民により負担のかからない方策をとる努力をしていきます。

程久保三丁目の開発予定地の保全について

問 該当地域は防災上の問題など様々な行政課題を抱えており、公有化が求められている。業者との交渉の経緯について問う。

答 (まちづくり推進部長) 公有化による保全整備を望む住民意思を尊重し、新都市建設公社の所有地との等価交換を協議してきましたが、不調に終わりました。

江口 和雄

(市民クラブ)

環境基本条例・農業基本条例などは日野市民の身近なものになっているか

問1 環境基本条例の取り組みと市民へのPRの方法と環境審議会について問う。

問2 農業基本条例の市民へのアピールと今後の農業の維持について、市の考え方を問う。

答1 (市長、環境共生部長) 環境基本計画の素案を策定し検討委員会を経て3月の議会に上程する

秋山 薫

(市民クラブ)

防災体制の充実について

問1 市民向けに地域の危険箇所を示した災害予測マップを作成できないか。

問2 避難場所ではどのようなサービスが受けられるのか。また、備蓄倉庫等の準備状況はどうか。

問3 住宅密集地等での消火栓の設置状況はどうか。

答1 (総務部長) 市民に役立つので慎重に検討します。



意 見 書

ないこと ○保険料は個人別に認定し、連帯納付義務規定を撤廃すること ○未収納については次年度国が補填することを制度化すること ○自治体には、法律に定められた以上の財政負担をかけること ○同制度を口実として医療保険制度改善を行わないこと ○家族介護制度を改善すること ○民間福祉労働者の処遇改善を進めること。

【意見書提出先】内閣総理大臣、厚生大臣

医療制度の連続改善をやめ、安心してかかれる医療の充実を求める意見書

多くの国民が福祉の後退や消費支出の増加に苦しんでいる中、政府は「財政構造改革法」によって、3年間連続して医療制度を改善するなど、社会保障を徹底して抑制しようとしている。更に、今通常国会でも医療改善法案の提出準備をすすめている。政府が計画している医療の連続的な改善をやめ、国民が安心して医療を受けられるよう、次の事項を要望するものである。

1、70歳以上のすべての高齢者に新たな負担増を押しつける高齢者医療保険制度の導入など一連の医療改善をやめ、国民が安心してかかれるよう医療制度を充実させること。

1、健保本人2割負担や薬代の二重取りなどの負担増を中止し、実施前の状態に戻すこと。

【意見書提出先】内閣総理大臣 厚生大臣

乳幼児医療費無料の制度を国に求める意見書

消費税・医療費負担増が国民に重くのしかかり、先が見えない不況のもとで乳幼児医療費の無料化への願いは切実である。1998年1月現在、3歳未満児の通院・入院の無料化を実施しているのは27都道府県、2千397市町村、73・1%が医療費無料制度を実施するに至っている。所得制限をしない100%無料化は27道府県、現物給付は18道府県、6歳未満児の無料化は8道府県となっており、少子化への対策としても多くの市町村で次々拡充してきている。しかし、自治体ごとの格差は大きく、国の制度化を求める願いが世論となって広がっている。

よって、子どもたちの健やかな成長を願い、乳幼児医療費無料を一日も早く国の制度として実施されるよう求めるものである。

【意見書提出先】内閣総理大臣、厚生大臣

問 予算とリース料の差額を問う
答 (病院事務長) 端末機の有効
利用など、精査の結果です。

請願・陳情の
審査状況

今定例会では、請願・陳情22件が審査されました。
審査の状況は次のとおりです。

採択された請願

◎更なる医療制度改善に反対する意見書の採択を求める陳情
【要旨】政府は医療制度の抜本改善を財政危機乗り越切りのためとしていますが、生命と健康を守ることは政府と自治体にとって「聖域」です。「21世紀の国民医療（指針）」財政構造改革法の撤回など、安心して医療を受けられるよう陳情します。
【結論】全員一致の採択。

◎日野市立第三幼稚園の増員に関する請願
【要旨】第三幼稚園では、昨年の園児募集に対し多数の応募があったため抽選を行い、23人が入園できませんでした。今年度の募集に對しては昨年を上回る応募が予想されます。公立幼稚園全体の定員内で、流動的・柔軟な対応を可能にして頂きたいと要望するものです。
【結論】全員一致の採択。

◎旭が丘一丁目の子供広場（緑地）と雑木林のみのり保全を求める請願
【要旨】緑の環境が少なく、旭が丘一丁目地区内にある「東京都新都市建設公社」所有の土地が3月にも競売されると聞いています。この土地を日野市または東京都で買い取り、公有地として現状のまま保全し緑を守るよう要望するものです。
【結論】全員一致の採択。

◎豊田南の区画整理事業に伴う新しいまちづくりに必要な施設の建設計画促進を要望する請願
【要旨】豊田南区画整理事業

【結論】全員一致の採択。
【要旨】政府は、財政構造改革法により3年間連続して医療制度を改善するなど、社会保障を徹底して抑制しようとしています。高齢者医療保険制度の導入や昨年9月から実施した健保

する請願

◎多摩平団地の空き家状態解消を市に願う請願
【要旨】「南部診療センター」の建設促進を求める請願
【要旨】「消費税の減税を求める意見書」の提出を求める陳情

◎下水道料金等への消費税上乗せ徴収に反対する請願
【要旨】学校事務職員・栄養職員の給与費半額負担等の義務教育費国庫負担制度の堅持を求める陳情
【要旨】労働基準法改正案に反対する陳情

◎アメリカの軍事介入に日本を参戦させる「周辺事態法」などの制定に反対する陳情
【要旨】3歳未満児の通院・入院の無料化を実施している都道府県は27、所得制限をしない100%無料化を実施しているのは27都道府県など、乳幼児の医療費の無料化については拡充しており、国の制度として、乳幼児の医療費無料化を実施していただきたく請願します。
【結論】全員一致の採択。

◎都市の農業を守るため、政府に相続税の大幅軽減を求める請願
【要旨】「義務教育費国庫負担法」の改正に反対する陳情
◎公務年金制度の改善に関する意見書の提出を求める請願

◎「乳幼児医療費無料の制度を国に求める」意見書提出の請願
【要旨】3歳未満児の通院・入院の無料化を実施している都道府県は27、所得制限をしない100%無料化を実施しているのは27都道府県など、乳幼児の医療費の無料化については拡充しており、国の制度として、乳幼児の医療費無料化を実施していただきたく請願します。
【結論】全員一致の採択。

◎旭が丘一丁目の子供広場（緑地）と雑木林のみのり保全を求める請願
【要旨】緑の環境が少なく、旭が丘一丁目地区内にある「東京都新都市建設公社」所有の土地が3月にも競売されると聞いています。この土地を日野市または東京都で買い取り、公有地として現状のまま保全し緑を守るよう要望するものです。
【結論】全員一致の採択。

◎豊田南の区画整理事業に伴う新しいまちづくりに必要な施設の建設計画促進を要望する請願
【要旨】豊田南区画整理事業

【結論】全員一致の採択。
【要旨】政府は、財政構造改革法により3年間連続して医療制度を改善するなど、社会保障を徹底して抑制しようとしています。高齢者医療保険制度の導入や昨年9月から実施した健保

今定例会で議決した議案

市長提出議案

- | | | | |
|------|---------------------------------|--------|---|
| 第42号 | 日野市下水道条例の一部を改正する条例の制定（原案可決） | 第70号 | 平成10年度日野市立総合病院事業会計補正予算（第1号）（原案可決） |
| 第44号 | 日野市立総合病院使用条例の一部を改正する条例の制定（原案可決） | 第71号 | 市道路線の一部廃止（原案可決） |
| 第45号 | 男女共同参画都市宣言（原案可決） | 第72号 | 日野市民会館舞台照明設備整備工事請負契約の締結（原案可決） |
| 第46号 | 平成9年度日野市一般会計決算の認定（認定） | 第73号 | 万願寺土地区画整理事業地区都市計画道路日野3・4・8号線築造（その13）工事請負契約の締結（原案可決） |
| 第47号 | 平成9年度日野市国民健康保険特別会計決算の認定（認定） | 第74号 | 日3・4・14号線橋梁（一番橋）下部工（その1）工事請負契約の締結（原案可決） |
| 第48号 | 平成9年度日野市土地区画整理事業特別会計決算の認定（認定） | 第75号 | 日野市収入役の選任（同意） |
| 第49号 | 平成9年度日野市下水道事業特別会計決算の認定（認定） | 第76号 | 日野市教育委員会委員の任命（同意） |
| 第50号 | 平成9年度日野市老人保健特別会計決算の認定（認定） | 第77号 | 日野市監査委員の選任（同意） |
| 第51号 | 平成9年度日野市老人保健特別会計決算の認定（認定） | 第78号 | 人権擁護委員の推薦（同意） |
| 第52号 | 平成9年度日野市老人保健特別会計決算の認定（認定） | 議員提出議案 | |
| 第53号 | 平成9年度日野市老人保健特別会計決算の認定（認定） | 第16号 | 北朝鮮のミサイル発射に対する抗議決議（原案可決） |
| 第54号 | 平成9年度日野市老人保健特別会計決算の認定（認定） | 第17号 | 北朝鮮の弾道ミサイル発射に抗議する決議（否決） |
| 第55号 | 平成9年度日野市老人保健特別会計決算の認定（認定） | 第18号 | 犯罪捜査のための電気通信傍受に関する法案に反対する意見書（原案可決） |
| 第56号 | 平成9年度日野市老人保健特別会計決算の認定（認定） | 第19号 | 国会解散・総選挙を求める決議（否決） |
| 第57号 | 平成9年度日野市老人保健特別会計決算の認定（認定） | 第20号 | 谷戸沢処分場の汚水漏れの原因究明と安全対策を求める意見書（否決） |
| 第58号 | 平成9年度日野市老人保健特別会計決算の認定（認定） | 第21号 | 金融機関の不良債権処理と破綻処理に公的資金投入はしないことを求める意見書（否決） |
| 第59号 | 平成9年度日野市老人保健特別会計決算の認定（認定） | 第22号 | 一般国道20号のバイパス整備の促進に関する意見書（原案可決） |
| 第60号 | 平成9年度日野市老人保健特別会計決算の認定（認定） | 第23号 | 更なる医療制度改善に反対する意見書（原案可決） |
| 第61号 | 平成9年度日野市老人保健特別会計決算の認定（認定） | 第24号 | 介護保険制度の準備・施行に関する意見書（原案可決） |
| 第62号 | 平成9年度日野市老人保健特別会計決算の認定（認定） | 第25号 | 医療制度の連続改善を求め、安心してかかれる医療の充実を求める意見書（原案可決） |
| 第63号 | 平成9年度日野市老人保健特別会計決算の認定（認定） | 第26号 | 乳幼児医療費無料の制度を国に求める意見書（原案可決） |
| 第64号 | 平成9年度日野市老人保健特別会計決算の認定（認定） | | |
| 第65号 | 平成9年度日野市老人保健特別会計決算の認定（認定） | | |
| 第66号 | 平成9年度日野市老人保健特別会計決算の認定（認定） | | |
| 第67号 | 平成9年度日野市老人保健特別会計決算の認定（認定） | | |
| 第68号 | 平成9年度日野市老人保健特別会計決算の認定（認定） | | |
| 第69号 | 平成9年度日野市老人保健特別会計決算の認定（認定） | | |

請願・陳情の提出の仕方

請願・陳情は、市民の皆さんの声を市政に反映させる有効な手段です。提出された請願・陳情は、所管の委員会が審査され、本会議で採択・不採択が決定します。
請願書には、その内容と代表者及び署名された方の住所・氏名を記入し、押印のうえ次の要領で提出して下さい。
○内容はできるだけ簡潔にし、なるべくA4判で横書きにして下さい。
○請願には1名以上の紹介議員が必要で、紹介議員がないものは陳情となります。

取下げられた請願

◎「乳幼児医療費無料の制度を国に求める」意見書提出に関する請願
【要旨】3歳未満児の通院・入院の無料化を実施している都道府県は27、所得制限をしない100%無料化を実施しているのは27都道府県など、乳幼児の医療費の無料化については拡充しており、国の制度として、乳幼児の医療費無料化を実施していただきたく請願します。
【結論】全員一致の採択。

取下げられた請願

◎旭が丘一丁目の子供広場（緑地）と雑木林のみのり保全を求める請願
【要旨】緑の環境が少なく、旭が丘一丁目地区内にある「東京都新都市建設公社」所有の土地が3月にも競売されると聞いています。この土地を日野市または東京都で買い取り、公有地として現状のまま保全し緑を守るよう要望するものです。
【結論】全員一致の採択。

取下げられた請願

◎豊田南の区画整理事業に伴う新しいまちづくりに必要な施設の建設計画促進を要望する請願
【要旨】豊田南区画整理事業

取下げられた請願

【結論】全員一致の採択。
【要旨】政府は、財政構造改革法により3年間連続して医療制度を改善するなど、社会保障を徹底して抑制しようとしています。高齢者医療保険制度の導入や昨年9月から実施した健保

市議会の傍聴を

市議会は、市民の皆さんの意見や要望を代表して市の方針を決定する機関です。市議会は、本会議はもちろん、各委員会も原則的には公開されており、どなたでも傍聴することができます。
傍聴を希望される方は、議会事務局にお申し出下さい。また、本会議の様子は、市役所1階市民ロビーのテレビモニターで放映しています。

会議録のご案内

市議会では、本会議の発言内容を掲載した「会議録」を作成しています。会議録は定例会、臨時会ごとにまとめられており、市内の図書館で閲覧できます。詳しい審議内容をお知りになりたい方はご利用下さい。

編集後記

朝夕の冷え込みが身にしみる季節となりました。各地から初雪や初霜などの便りも届き、秋の深まりを感じます。
今年は、各地で台風等による水の被害が相次ぎ、当市においても、駒形の渡し舟の船着場が流されるなど、その被害がみられました。こういった異常気象とも言える状況は東北、中部地方などの農作物にも多大なる被害を与えました。また、沖縄県では水温の上昇により内湾浅瀬の珊瑚は瀕死の状態です。あるべきところにあるべき自然が無くなっている、こんな状況を引き起こす異常気象は、ある意味人災かも知れません。豊かな自然、住みよい環境、我々は次世代に何を残せるでしょうか。
これから、冬に向かい、一日と寒さが厳しくなりますので健康に留意され、ご自愛下さい。